

夏季例会「天神祭宵宮」

「ジャズ」と「なにわクルーズ」と「大阪締め」の夕べ



平成29年7月24日(月)
八軒屋浜～湊町まで…

毎年恒例となった、2018年の夏季例会。例年にはどのほども、70名の方の乗船で出航しました。

熱い空気に相応しいブリーズ・オブ・ディキシーランドのジャズ演奏は、ニューオリンズのティストで、ほんわかとした雰囲気。小気味よく揺られる心地よさを味わえたように思います。吉本新喜劇のテーマ曲『Somebody Stole My Gal』も、また一味違って、色っぽく聴こえたり、オーケストラの伴奏を添えていたいで大阪締めも、趣深く…。八軒屋浜～難波・湊町リバーパークまでのルートは大阪の夏を視覚・聴覚・味覚を“たっぷり”と味わうとともに、浴衣姿でご参加の皆さまによる「和」の美しさに、極上のなにわの「夏本番」を共有させていただくことができ、楽しい夕べとなりました。



川面から望む
大阪の街

一人では味わえない協議会の皆様との交流があつてのひとときです。大阪文化、知らない大阪の景観、楽しい仲間との交流…などなど。収穫はたくさんありますよ!!来年もまたぜひ一緒に一緒に来てくださいね。お待ちしています!!

Information

漫才のワークショップでボケとツッコミ体感!

笑
学



感謝状が贈られた土方兄弟

(今年6月総会で)



主 催:NPO法人関西演芸推進協議会
協 力:相互タクシー(株)、
(株)小学校集英社プロダクション、千房(株)
特別協力:(株)JOSHOU、前田葉子様
対 象:大阪府下の小学校
(募集中※応募校多数の場合は抽選にて決定)

関西の上質な演芸文化のために…

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動を一緒にしませんか…

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

公式ウェブサイト <http://www.walive.org>

笑らいぶ

検索

編集後記

編集にあたって、今までの行事を振り返り、撮りためた写真を見ていると、皆様の生き生きとした表情に出会うことができます。久しぶりの再会があったり、はじめての出会いがあったり…。今回、誌面で紹介したNSCの授業では、「笑」のみならず、「思い」を伝えるための姿勢を学ばせていただきました。普通のことなのに、できていないことが一杯あるように思えて、50年ほど生きてきて、いたい何をしてきたのか…想われる時でもありました。そうそう、今日『金は100歳、銀は100歳』懐かしいCMが放送されました。また、甲子園100回記念大会、涙と汗にまみれてのこの夏。次の季節を待ちながら、今、この時も捨てがたく思うのです…。(編集部:廣田)

NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌



笑ライブ 第26号

2018年8月

「笑ライブ」とは…
「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

CONTENTS

☆2018年度「新春例会」開催 1頁

☆2018年度「通常総会」開催 2頁

☆「定期例会開催」 3頁

☆「女性部会」開催 3頁

☆夏季例会 4頁

☆「美学」のご案内 他

【発行】 NPO法人関西演芸推進協議会 編集部
<事務局>
大阪市浪速区難波中1-10-4
千房株式会社内
TEL.06-6633-1430
FAX.06-6633-1435
<http://www.walive.org>
info@walive.org

2018年1月30日(火)
於)スイスホテル南海大阪

Report

2018年「新春例会」開催

毎年恒例の新春例会。今年もスイスホテル南海大阪にて開催されました。

今宮戎神社の福娘の皆様による「福德祈願」をはじめ、オープニングセレモニーには、道頓堀を舞台に繰り広げられるフードスターの観客体感型新感覚エンターテイメント!「GOTTA」の魅惑のライブステージを楽しみました。

また、邦楽演奏会、マグロの解体ショーなどなど、豪華なお年玉企画で五感に響くステージ。大阪のエンターテイメントを満喫いただけたことと思います。

また、たくさんの皆様とも和やかな雰囲気の中でご歓談いただきましたこと、改めましてお礼申し上げます。より一層の大阪の発展とともに、当協議会、並びに会員の皆さまのご多幸を祈念いたします。

2018年度「通常総会」開催

第2部 記念講演会「文楽のすゝめ」講師:竹本織太夫さま



2018年6月26日(火)
於)スイスホテル南海大阪



2018年度の通常総会が6月26日、スイスホテル南海大阪にて開催されました。

昨年度の行事報告及び、今年度の事業予定をご報告、ご提案の後、満場一致で承認され、本年度の新しい事業運営のスタート地点に立つことができました。

開会のご挨拶では小野幸親会長が、会員の皆さんに、協議会へのこれまでのご理解、ご協力に対しての謝辞と、大阪文化の発展への想いなどについてお話し、皆様の温かい共感のお気持ちを頂戴することができ、嬉しく思うとともに、協議会の運営への責任を担い、会員の皆様のご厚情に感謝の意を表されました。

第2部記念講演会では、今年1月に6代目を襲名された竹本織太夫さんにお話しいただきました。文楽が大阪発祥の文化であること、文楽の歴史、太夫と三味線の「阿吽の呼吸」をはじめ、専門用語と現存する文化や名称との関係性などは実に面白く、興味深いお話を、太夫の迫力に溢れる「生」の語りも体験させていただくことができ、大阪、日本の文化として、「文楽」に魅了された方も多いかったのではないでしょうか。

また、敷居が高く感じていた文楽ですが、竹本織太夫さんによる著書「文楽のすゝめ」では、初心者でもわかりやすく、また親しみやすい芸術として解説されています。「大阪伝統文化」として、ぜひ皆様にも身近に触れていただければと思います。

新しい文化、芸能のつながりが、次の実りになることを楽しみにできそうです。

【6代目 竹本織太夫(たけもとおりたゆう)さん profile】

本名 坪井英雄 昭和50年、心齋橋アメリカ村生まれ。
祖父は、文楽三味線弾きの鶴澤道八、伯父は同じく現在活躍中の鶴澤清治、弟は鶴澤清恒。
昭和58年 6月 豊竹咲太夫に入門、豊竹甫太夫と名乗る。
昭和59年10月 文楽協会研究生となる。
昭和61年 3月 素淨瑠璃の会「領域阿波の鳴門」巡礼おつるで初舞台(国立文楽劇場小ホール)
平成 5年 6月 文楽鑑賞教室「団子壳」ツレで文楽公演初舞台

【主な受賞歴】

平成13年／平成12年度因協会奨励賞、平成16年／平成15年度文楽協会賞、
平成18年／大阪舞台芸術新人賞、平成19年／平成18年度文楽協会賞、国立劇場文楽奨励賞、
平成21年／平成20年度国立劇場文楽奨励賞、大阪文化祭賞奨励賞、平成23年／平成22年度咲くやこの花賞、平成25年／松尾芸能賞新人賞、平成25年度大阪文化祭賞グラントプリ、平成30年／十三夜会
平成30年1月月間賞 他受賞多数

★著書『豊竹咲太夫と文楽へ行こう』旬報社(平成16年発売)、『文楽のすゝめ』実業之日本社(平成30年1月発売)
★公式ホームページ <http://www.sakiho.com/Japanese/>



毎回、司会を務めてくださる菌田涼子さんと一緒に撮影

Close Up

「定期例会」開催

NSC YCC (よしもとクリエイティブカレッジ) 大阪校を見学!

今年3月の定期例会は、関西演芸しゃべり話芸大賞の審査員としてもお世話になっている、NSC講師で漫才台本作家、構成作家の本多正識先生の「生授業」を見学させていただきました。

この日はなんと、授業の最終日。芸人を志願して1年間学んできた受講生の真剣な眼差しと、芸に打ち込む姿、そして、本多先生の厳しくも温かいアドバイスを聞きながら、凛とした空気を会員の皆さんと一緒に体験させていただきました。

前号で紹介させていただきました、『NSCの心得』を振り返っていただけると、さらにその中身がお分かりいただけるかとも思いますが、本多先生の指導される内容は、芸の上だけでなく、「人として」のあり方そのもの。

受講生にとっての貴重なラストレッスンに、見学された方にも緊張が伝

わってくるほどの真剣な授業だったと思います。授業の後は、場所を変え、本多先生を囲んでの懇親会へと…。先ほどまでの厳しい眼差しから、ゆったりとした話口調で語られる、やさしい風貌の本多先生に、みなさん色々と質問攻め!ちょうど、NHK朝の連続ドラマ「わろてんか」の放映中だったこともあり、制作に協力されたエピソードなどに興味をそぞらる一幕も…。楽しいお話を聞かせていただきました。



【本多 正識(ほんだ まさおり)さん profile】

1979年 ラジオ大阪「Wヤングの素人漫才道場」にて11本連続で漫才台本が採用。
1984年 オール阪神・巨人のブレーンとして参加。台本を手掛けた。
1991年、よみうりテレビ「上方お笑い大賞・秋田実賞」受賞。
現在まで漫才・コント・新喜劇台本を2,000本あまり、テレビ、ラジオ構成台本を3,000本あまり手掛けた。また1万人以上の芸人志願者を指導。
【肩書】漫才台本作家、構成作家、吉本総合芸能学院(NSC)講師、よしもとクリエイティブカレッジ(YCC)講師、よしもと漫才劇場総合アドバイザー 他
★著書『吉本芸人に学ぶ生きる力』扶桑社、『芸人志願』鉄人社



「女性部会」開催 落語を楽しむ会

2018年8月8日(水)
於)スイスホテル南海大阪

8月8日、女性部会は当協議会副会長の桂福団治師匠をゲストにお迎えして「落語を楽しむ会」を開催。約60名の方にご参加いただきました。マクラでは、師匠が入門するため、故郷を離れた時のお父様との思い出に触れられ、その流れで「戻入り」へ。息子の亀を奉公に出し、3年ぶりに戻入りで帰省する人情噺。たっぷり泣かせ、たっぷり笑える演目でした。前座では、師匠の弟子でカナダ人の桂福龍さんも一席。外国人であることでの苦労話や笑い話も伺うことができました。懇親会では、皆様とのご歓談のあと、福団治師匠への質問コーナーへと…。初めて参加されたという方もいらっしゃいましたが、「また是非、参加したい。」とのお声もいただくことができました。今後も女性部会の活動にご注目ください!!

【桂福団治(かつら ふくだんじ)師匠 profile】

1940年 三重県生まれ
1960年 桂春團治入門、一春と名乗る。
1966年 五代目桂小春と改名。
1973年 四代目桂福団治を襲名
1999年 文化庁芸術祭優秀賞、1981年 上方お笑い大賞功労賞受賞ほか
主な会は「福団治一門会」「手話落語寄席」「法善寺寄席」「あびこ観音寺寄席」
NPO法人関西園芸推進協議会副会長
関西演芸協会第10代会長、上方落語協会相談役、日本手話落語会会長



2018年3月12日(月)
於)NSC YCC 大阪校
スイスホテル南海大阪

ご参加くださいましたみなさまと記念撮影